

校長 eyes (99)

9月20日(金)【サルスベリ】



朝晩が少しだけ涼しくなり、やっと秋の始まりを感じるようになりました。写真は、学校の裏山に咲いていたサルスベリです。すべすべした感触の樹皮で、サルが登ろうとしても滑ってしまうということでその名が付いたそうです。また、比較的長い間花が咲いていることから、百日紅ともいいます。萼（がく）が六方に裂け、縮れた花が開いている様子は、去りゆく夏を惜んでいるのか、花火のようにも見えます。尾道には花火がよく似合います。

本日の短歌

「猛暑日を ものともせず 咲き続け 秋への誘い ひっそりとする」